

県大会（3回戦）の結果

● 4月29日（水）

春季県大会3回戦

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
花咲徳栄	1	0	1	0	2	3	0	5	(8c)	12
市立浦和	1	0	0	0	0	0	0	1		2

29日（水）県大会3回戦が行われました。相手は花咲徳栄高校、秋の県王者（甲子園ベスト8）のチームと（失うものは何もない）シード権獲得直後という絶好のタイミングで対戦させていただくこととなりました。

よく、大会に出るからには優勝しなければ意味がない的なことを言う人がいますが、これは違います。私達はこの春、地区大会の浦和からスタートして、熊谷、上尾、大宮の各球場で試合を経験することができました。またそのすべての試合を新入部員達を観戦しました（何か感じてくれたはずです）。それらはすべて、チームにとって「財産」となりました。

すぐ夏に向かってスタートします。
応援等、本当にありがとうございました。

今後の予定

- 1日（金）さいたま市民の日
 - A 大宮北（市営浦和）
 - B 大宮北（市高）
- 2日（土）全部員で練習
- 3日（日）全部員で都立国立（市高で）
（昼に1年生同士で試合あり）
- 4日（月）A 休み
B 越谷総合（遠征）
- 5日（火）A 横須賀 熊谷（市高で）
B 休み
- 6日（水）A 市立太田 足利（市太田）
B 練習

市立浦和高等学校野球部通信

発行者 鈴木 諭

発行日 R8. 4. 30

発行ナンバー 1265号

様々なシード校があって良い・・・

ここ最近の通信でお分かりかと思いますが、市高野球部はこの春の大会で、夏の（埼玉県大会の）シード権を獲得することができました。以下、このことに関して私が身近な方からいただいた言葉を紹介させていただきます（私の勝手な解釈ですが、すべて褒めていただいているものとします・笑）

●シード校が、私立高校や、公立高校でも自分達とは環境（施設や部員数）の違う高校ばかりだと、とても遠い存在のように感じてしまうが、市高のようないかにも普通っぽい（自分達に近い）高校がシードを獲ってくれると、とても励みになる。

●早大本庄高校戦、試合前のキャッチボールやシートノックを観ると、明らかに早大本庄高校さんの方が上手い、今日の市高は苦しいと思いました。が、試合が始まると、チーム全体が気迫を前面に出すようなプレースタイルでそういう面をカバーしていました。戦い方って色々あるんだなと勉強になりました。

●また（春の大会では珍しいんですが）学校私宛に手紙をいただきました。書かれていたことをまとめさせていただくと・・・今の高校野球、力差のあるカードが多く、学校によっては、監督が何もしなくても勝ってしまう試合が多そうですが、市高は違いますね・・・鈴木先生の「采配」が常に必要な状況だと思います。でもそれって高校野球の監督としては「最高の環境」なのではないですか？これからも先生の「采配」を楽しみにしています。夏も頑張ってください。

どうやら皆さん、「市高野球部」のイメージをお持ちのようで・・・それが高いレベルの技術等を持つ、でないのはハッキリしているようです・笑